

春が来た



文化の家東側 香流川沿いの桜並木

待ちに待った春がやってきました。
厳しい冬を乗り越えたこの春は、喜びもひとしおです。
短い春の一瞬一瞬を愛おしみながら、
さあ一步、踏み出しましょう。

総会は今年度も中止に

フレンズ事務局長 山口節子

終息とはいえないまでも、コロナ患者数が劇的に減少して、日々の生活の見通しが良い方向にむくようになりました。このコロナ禍、「文化の家」では、客席数の調整をしたり、公演に参加していただくお客さまには、チケット(半券)に連絡先を記入していただくなど、種々の配慮・工夫をしながら事業を続けてきました。

フレンズの活動は、その事業のホールスタッフとしての活動と、クリスマスコンサートの開催にとどまりましたが、コロナ禍の中、公演の受付や会場係などは多くのスタッフのボランティア活動の支えで行うことができました。クリスマスコンサートでは200名を超えるお客さまが来場し美しい調べに大きな拍手をいただきました。今後もお客さまが公演を楽しみ、気持ちよく過ごされるようにサポートしていきたいと思えます。

総会につきましては今年度も昨年度に引き続き、勝手ながら中止とさせていただきます。『活動のまとめ、来年度の活動の提案』などにつきましては、書面での報告とさせていただきます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

フレンズ会員登録・更新のお願い

2023年度に向けて、フレンズ会員の登録更新がまだお済みでない方は、文化の家の窓口で受け付け中です。
お早めに登録の更新をお願いします。

フレンズ役員を募集

2023年度フレンズ役員としての活動を希望される方は、送付資料に同封されたハガキか、文化の家の事務局までお申し出ください。
(0561-61-3411)

文化の家を
知る

座☆NAGAKUTEの巻

座☆NAGAKUTE に来てみてちょ



「アトムへの伝言」より

市民劇団「座☆NAGAKUTE」先日第34回公演「風立ちぬ」を無事に終了することができました。観劇していただいた皆様、ありがとうございました。「え？そうなの？」と心でつぶやいた皆様、初めまして。よろしくお願ひします。昨年度は諸事情のため公演が中止となり、2年分の思いを込めたの公演となりました。

さて、「長久手市文化の家」を拠点に活動する座☆NAGAKUTE。発足は平成9年。なんと発足から四半世紀が経ちました。現在座員は16人。個性豊かな20代から70代の面々です。発足当時から参加している座員もいます。演劇に初めて携わる座員も、どっぷり演劇に浸かっている座員も、佃典彦氏(第5回か

ら演出を担当)の演出の下、観に来ていただくお客様に喜んでいただける作品を創るうと、奮闘しております。

本公演以外の活動にも
取り組んでいます。

活動は、金曜日の夜間(18時30分〜22時)。年一回3月に行われる本公演にむけて、4月から活動が始まります。台本の選びは座員の手で。配役は演出が決定。11月からは水曜日夜間、1月からは、さらに日曜日夜間と週3回に活動を増やし、作品の精度をあげていきます。コロナ禍で活動が制限される以前は、公開稽古を行ったり、文化の家の一角をお借りしてのプレイベントを行ったりしていました。また、一昨年度は「子ども向けの絵本の朗読会」を開催、今年度は、長久手楓まつりでの「朗読」の発表など、本公演以外の活動にも精力的に取り組んでいます。



「風立ちぬ」の稽古風景

稽古には無理せず
参加することが基本です。

仕事をしながら参加している座員が多く、作品作りには真摯に取り組むけれど、稽古には無理せず参加することが基本。それぞれに年輪を重ねてきた座員たちにとって、怪我なく元気に作品創りを続けることが最重要事項なのです。

ぜひ、稽古見学に！

また、座☆NAGAKUTEでは、原則、配役を決める時点で在籍しているすべての座員に、役が与えられます。「一度舞台に立ってみたい！」その希望、きつとすぐに叶えられます。また、スタッフワークに興味をお持ちの方も、大歓迎。座員は、それぞれの得意分野でスタッフワークを分担して行っています。興味をお持ちの方は、ぜひ、稽古見学にいらしてください。

座☆NAGAKUTEの稽古は、主に舞踊室です。見学には事前の申込が必要です。見学ご希望の方は、文化の家までご連絡ください。
座☆NAGAKUTE、地域の方に楽しんでいただける作品を、これからお届けしていきたいと思っております。

(座☆NAGAKUTE

座員 すがとも)

屋根裏部屋のチェロ

長久手市 暮らし文化部
生涯学習課（文化の家内） 生田 創



ギャラリーで演奏する生田 創さん

最初に練習した曲は 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の第二楽章

私は大学に入学して19歳からチェロを始めました。「弦楽オーケストラ部結成！楽器貸します」というビラにつられて説明会に行きましたが、そこにいた参加者全員がヴァイオリンを希望していました。ちょっと目立ちたかった私は、あえてチェロを選んで弾いてみたところ、意外にもすぐに音が出て歓声が沸き起こり…きっかけはそんなものでした。最初に練習した曲は「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の第二楽章。パート練習は平凡で退屈な音の連続…ところが合奏してみると魔法のように音楽が生まれ変わりました。「これが天才の音楽か…」と、衝撃を受けた私はすぐにのめり込みました。

“歌う楽器”であること

低音を得意とするチェロですが、いろいろな曲を練習していくと伴奏だけでなくメロディも演奏するようになり、“歌う楽器”であることに気づいてきました。歌手でいうとバス、テノール、アルト、ソプラノの音域をカバーしており、胴体も大きいのでとてもよく響きます。ここにチェロが「人間の声にもっとも近い」と言われる由縁があります。サン＝サーンスの「白鳥」、フォーレの「夢のあとに」、ドヴォルザークのチェロ協奏曲など名曲は数知れず、いずれもチェロの深く柔らかい音色を活かし、メロディが際立つ作品ばかりです。

「無伴奏チェロ組曲」との出会い

あれから30年以上が経ち、私は今もチェロを弾き続けています。その理由は、ヨハン・セバスティアン・バッハが作曲した「無伴奏チェロ組曲」との出会いがあったからです。20世紀初頭にチェロの巨匠パブロ・カザルスによって発掘された全6曲の作品集は、チェロ1台の可能性を極限まで追求したバッハの傑作で、今やあらゆるチェロ奏者のバイブルとなっています。私のようなアマチュアがこの作品を弾くのは無謀の極みですが、人間の好奇心を掻き立てるロジック、知性とユーモアの絶妙なバランス、予測を裏切るハーモニーのセンスなど…小節ごとに唸ってしまうのです。これが300年前に作曲されたことを思うと、時を超えてバッハの感性が現代に生きる私たちとリアルに交信していることに驚愕せざるを得ません。私はこのような作品との出会いがあった人生をとてラッキーだと思っています。

「屋根裏部屋」のような存在

さて、初めに書きましたがチェロはわりと簡単に音が出せますので年齢を問わず始められます。ちょっとサイズが大きいですが、それだけに身体に振動が直によく伝わり、何とも言えない愛着が湧いてきます。

なかなか上達しませんが、小さな発見の愉しみを与えてくれるチェロを私は「屋根裏部屋」のような存在だと思っています。

【付録】 オススメのチェロ曲 (&チェリスト)

- J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲 第1番 BWV.1007 (モーリス・ジャンドロン)
- シューベルト アルペジョーネ・ソナタ イ短調 D.821 (アンヌ・ガスティネル)
- メンデルスゾーン 無言歌 ニ長調 作品109 (マイクロシュ・ペレーニ)
- ラフマニノフ チェロ・ソナタ ト短調 作品19 (ステューヴン・イッサーリス)
- 吉松隆 白い風景 作品47 (向山佳絵子)



コリン・カーリー・グループ オール・ライヒ・プログラム

日時 2023年4月26日(水) 19:00 開演 会場 森のホール
 料金 前売り フレンズ 4,500円 一般 5,000円 学生 3,000円
 当日 一般 5,500円 学生 3,500円

レジェンドの神髄、ここにあり

クラシック、現代音楽に限らず、テクノやラップなどのポピュラー音楽シーン、さらに現代美術まで現在のあらゆるアートシーンに多大な影響を与えたミニマル・ミュージックの巨匠スティー・ライヒ。そのライヒが最も信頼を寄せる演奏家コリン・カーリー率いるパーカッション・アンサンブルが文化の家に登場します。全曲ライヒ作品によるコンサートを是非お見逃しなく。



コリン・カーリー・グループ

午後の笑時間 東西聴きくらべ落語会 vol.1 江戸の巻

柳家勸之助 ひとり会

日時 2023年5月18日(木) 13:30 開演
 会場 光のホール
 料金 前売り フレンズ・一般とも 1,200円
 当日 1,500円



柳家勸之助

今波に乗る若手が東西交互に登場

文化の家で新たな落語会のシリーズが始まります。同じ落語といっても江戸(東京)と上方(大阪)では笑いの質が違います。このシリーズではおよそ半年ごとに東西双方から交互に新進の落語家が登場。落語初心者から通の方まで、それぞれの楽しみ方ができる、光のホール初の落語会です。初回に登場の勸之助は、柳家花緑の弟子で、江戸落語正統派の噺家です。

まちだ商店街悲恋物語

日時 2023年6月23日(金) 20:00
 24日(土) 11:00、16:00
 25日(日) 13:00 開演
 会場 光のホール
 出演 大脇ばんだ、藤島えり子
 作・演出 いば正人(蒼天の猫標識)
 料金 前売り フレンズ 1,500円
 一般 2,000円
 当日 2,000円



梅雨時に爽やかな笑いを

とある商店街の町内会を舞台に心配性でネガティブ思考の高橋さんと、気分屋でポジティブ思考の山本さんが繰り広げる小さな大騒動! 梅雨時のジメジメした気分を吹き飛ばす、軽やかなコメディをお楽しみください。

ひとりごと

子どものころ使っていた言葉はなかなか抜けない。
 「キッチン」は「台所」「ハイネック」は「とっくり」、
 「ハンガー」は「えもんかけ」。
 心の中で変換している。



長久手市在住 S.K

ロコトレとは、ロコモを防いで、いつまでも元気な足腰を維持するためのトレーニングです。運動不足が気になり昨年より始めました。

保健師さんの講義は一時間、テーマは日によって違いますが、介護が必要になる原因、予防法、動脈硬化が起きる仕組み、食生活を整える必要性などを話されます。終わると次は一時間実技に入ります。受講生は13名と少人数なので先生の目が隅々まで行き届き手を抜く事はできません。(笑)

数種類のストレッチをして次は筋トレです。腹筋、片足立ち、両手は胸に左

先生のお言葉
 「やせてはいけません。いっぱい食べてその分、運動しましょう!」

足を上げ60まで始めと号令がかかります。若い先生の大きな声で1、2、3…45、46フラックとしてきます。足指で力いっぱい踏ん張っても50過ぎるころには、バランスが崩れそうになり心の中ではよはよ早く早く60になるまで唱えます。その後右足に移り、スクワット、つま先立ち、フロントランジ、早歩き、クールダウンをして終わります。これからの人生、健康寿命を伸ばすためロコトレを続けたいと思っています。